

令和4年度第1回斜里町総合教育会議議事録

I 開催日時 令和4年5月25日(水)

開会 午後3時50分

閉会 午後5時05分

II 開催場所 斜里町役場大会議室

III 出席者

【構成員】

斜里町長 馬場 隆

斜里町教育委員会

教育長 岡田 秀明

職務代理者 長谷川 宏文

委員 西原 重雄

【事務局】

総務部長 増田 泰

教育部長 馬場 龍哉

企画総務課長 松井 卓哉

生涯学習課長 菊池 勲

企画総務課総務係長 代田 佑輝

IV 内容

1 開会

2 町長あいさつ(要旨)

- ・4月23日にウトロで海難事故が発生し、1月が経過したがまだまだ見通しは立たない状況である。
- ・町民のコロナ感染者は連日発生しているが、ワクチンを接種していることで重症化している方はほとんどいない。ワクチンでは感染を完全に防ぐことは難しいと言われているため、感染が発生した場合には、更なる感染の拡大を防ぐことを目指していく。
- ・町の教育面や感染症対策など、様々な事項について皆様のご意見を伺いたい。

3 報告事項

- 新型コロナウイルス感染状況について

4 意見交換

- 知床遊覧船事故と児童生徒への影響について

5 詳細内容

(1) 管内、町内における新型コロナウイルス感染状況・陽性者数について資料に基づき説明を行った。

●質疑等

・西原委員：幸いに身近に感染者は出ていないが、周りからは感染者が出たという話は聞くことはある。町内の感染状況的にも増加しているとは感じる。

・町長：行動制限も緩和され、感染経路もわかりにくくなっており、感染者数は増加しているが、ワクチン接種が進んだことで、感染者は出ているが重症者はほとんどでていない。

・教育長：学校のコロナ対策は非常に気を付けて実践していると感じている。感染者情報に対して無理な詮索や、誹謗・中傷を行わない等も教育に組み込まれていると考える。

・長谷川職務代理者：感染情報は町の情報発信等を通じてわかるが、斜里町はワクチン接種率が高い等の要因から、住民も感染に対して神経質にならずに、いい意味で気にしなくなってきていると感じている。

・教育長：各家庭において、子どもがコロナの疑いが少しでもある場合には、自主的に休むなどの対策を講じていただいているのが大きいと感じる。

・長谷川職務代理者：町の情報発信において、職員の感染状況のみを今でも発信しているが、そろそろ発信するのはやめても良いのではないかと思う。

・町長：情報発信をしないことも検討したが、今は感染者が出た際には情報発信することとしている。

●知床遊覧船事故と児童生徒への影響について

・西原委員：ウトロに住んでいても、テレビ報道で知ることが多く、驚いている。

・総務部長：子どもの通学の際に報道陣の過剰取材の対象になることや、ウトロ学校の敷地をヘリポートとして使用したことに対しての苦情が斜里町に寄せられている。

・町長：過剰な取材については、まずご家族の方のことを第一に考え行ってほしいと伝えている。大人でも対応に困る場面もあったと思うが、子ども達にもそうした場面があったのではないか。子ども達はどのように感じていたのだろうかと思う。

・長谷川職務代理者：直接子どもから聞いたわけではないが、今回の事故において「良い人」と「悪い人」が明確にいるような報道のされ方が行われていると感じている。子どもたちが報道のとおりと受け止めてしまうのではと考える。子どもたちは今回の事故においては、斜里町の対応を見て、人の心に寄り添うことの重要性を感じたのではないか。

- ・町長：町職員の対応を含め、子ども達だけでなくご家族の方にも伝わっていただければ幸いである。
- ・教育長：長谷川職務代理者の言う通り、報道により「悪い人」を作られていること、また、斜里の子どもということで、他者からの攻撃対象とならないかが心配な点である。
- ・西原委員：スクールカウンセラー等の活用について。
- ・生涯学習課長：スクールカウンセラーには対応いただいている。対象児童生徒は少数であり、学校全体としては、落ち着いている。
- ・総務部長：今回の事故により、斜里町は外部より厳しい目で見られることが予想される。
- ・町長：厳しい目で見られることは仕方がないことである。そうした状況であるからこそ、元気を出していくことが今後重要である。

5 閉会 午後 5 時 05 分